

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 15 日 (2007.2.15)

【公開番号】特開 2005-160652 (P2005-160652A)

【公開日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【年通号数】公開・登録公報 2005-024

【出願番号】特願 2003-402243 (P2003-402243)

【国際特許分類】

**A 6 3 F 7/02 (2006.01)**

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 29 日 (2006.11.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行に関する遊技制御を行う遊技制御回路と、遊技球の払い出しに関する払出制御を行う払出制御回路とが設けられ、開閉不能に封印された基板ケース内に収容された 1 つの遊技制御基板であって、

前記遊技制御回路および前記払出制御回路には、前記遊技制御および前記払出制御を実行する 1 つの共通中央演算装置と、前記遊技制御および前記払出制御に関する情報を記憶する共通揮発性メモリとが搭載され、

前記遊技制御回路には前記遊技制御に関する情報を記憶した遊技用不揮発性メモリを、前記払出制御回路には前記払出制御に関する情報を記憶した払出用不揮発性メモリを、各々搭載する構成としたことを特徴とする弾球遊技機。

【請求項 2】

前記共通揮発性メモリは、前記共通中央演算装置とともに 1 つのチップで構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の弾球遊技機。

【請求項 3】

前記遊技用不揮発性メモリおよび前記払出用不揮発性メモリは、前記共通中央演算装置とともに 1 つのチップで構成されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の弾球遊技機。

【請求項 4】

前記共通揮発性メモリ内には、遊技制御領域と払出制御領域とを設ける構成としたことを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 つに記載の弾球遊技機。

【請求項 5】

前記遊技制御基板上に、遊技球の発射に関する発射制御を行う発射制御回路を設け、前記共通中央演算装置は、前記遊技制御および前記払出制御に加えて前記発射制御をも実行するように構成し、

前記発射制御に関する情報を前記共通揮発性メモリおよび前記遊技用不揮発性メモリに記憶する構成としたことを特徴とする請求項 1 ないし 4 に記載の弾球遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

前記課題を解決するための請求項 1 に記載の発明は、

遊技の進行に関する遊技制御を行う遊技制御回路と、遊技球の払い出しに関する払出制御を行う払出制御回路とが設けられ、開閉不能に封印された基板ケース内に収容された 1 つの遊技制御基板であって、

前記遊技制御回路および前記払出制御回路には、前記遊技制御および前記払出制御を実行する 1 つの共通中央演算装置と、前記遊技制御および前記払出制御に関する情報を記憶する共通揮発性メモリとが搭載され、

前記遊技制御回路には前記遊技制御に関する情報を記憶した遊技用不揮発性メモリを、前記払出制御回路には前記払出制御に関する情報を記憶した払出用不揮発性メモリを、各々搭載する構成としたことを特徴とする弾球遊技機である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

請求項 2 に記載の発明は、

請求項 1 に記載の弾球遊技機において、

前記共通揮発性メモリは、前記共通中央演算装置とともに 1 つのチップで構成されていることを特徴とする弾球遊技機である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

請求項 4 に記載の発明は、

請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 つに記載の弾球遊技機において、

前記共通揮発性メモリ内には、遊技制御領域と払出制御領域とを設ける構成としたことを特徴とする弾球遊技機である。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

請求項 5 に記載の発明は、

請求項 1 ないし 4 に記載の弾球遊技機において、

前記遊技制御基板上に、遊技球の発射に関する発射制御を行う発射制御回路を設け、

前記共通中央演算装置は、前記遊技制御および前記払出制御に加えて前記発射制御をも実行するように構成し、

前記発射制御に関する情報を前記共通揮発性メモリおよび前記遊技用不揮発性メモリに記憶する構成としたことを特徴とする弾球遊技機である。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

しかも、請求項 1 に記載の発明によれば、遊技制御および払出制御を 1 つの共通中央演算装置で行い、遊技制御および払出制御に関する情報を共通揮発性メモリに記憶する構成としているため、中央演算装置および揮発性メモリの個数を削減でき、コストダウンを図ることができる。また、中央演算装置および揮発性メモリの個数削減により遊技制御基板の小型化を図ることができる、ひいては基板ケースのより一層の小型化を図ることができる。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

請求項 2 に記載の発明、請求項 3 に記載の発明および請求項 4 に記載の発明によれば、遊技制御回路および払出制御回路の、より一層の簡素化と高能力化を図ることができる。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、基板ケース内に收容された遊技制御基板上に発射制御回路が設けられている場合において、請求項 5 に記載の発明によれば、共通中央演算装置で発射制御をも実行するので、発射制御専用の中央演算装置を設ける場合に比べて中央演算装置の個数を削減でき、コストダウンを図ることができる。また、中央演算装置の個数削減により遊技制御基板の小型化を図ることができる、ひいては基板ケースのより一層の小型化を図ることができる。

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 2 】

しかも、請求項 5 に記載の発明によれば、遊技用不揮発性メモリおよび共通揮発性メモリで発射制御に関する情報を記憶させるので、発射制御専用の不揮発性メモリおよび揮発性メモリを設ける場合に比べて不揮発メモリの個数を削減でき、コストダウンを図ることができる。また、不揮発性メモリおよび揮発性メモリの個数削減により、遊技制御基板の小型化を図ることができ、ひいては基板ケースのより一層の小型化を図ることができる。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 4

【補正方法】 削除

【補正の内容】